

レッスン2

ICPプログラムは、人のためになる質の高いサービスを提供するために存在します。

私たちの周りのコミュニティの生活を良い方向へ向け、柔術を通して、多くの人々がより自信を持って楽しく、より良い人生を送れるように支援します。

質問1:

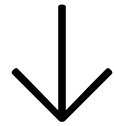
プログラムがない柔術スクールの問題
は???

答え1:

柔術が本当に必要とする人たちが、
柔術を学ぶことができないこと



プログラムがないスクールは、
身体能力の高い人、力が強い人たち
が、楽しむことができる



サラリーマン、小柄な男性、女性、年齢
を重ねると難しくなる

柔術は、小柄な人、非力な人、女性、子どもを助けるために存在します。😊

プログラムなしでは、柔術が本当に必要な人たちに伝えることはできません。

答え2:

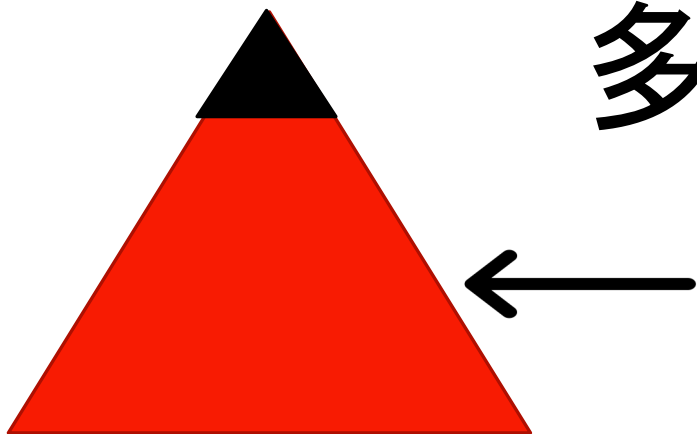
メディアで活躍している柔術と、
リアルの柔術スクールのギャップ

MMAで活躍する柔術は、パンチやキックから身を守る方法で成功を収める

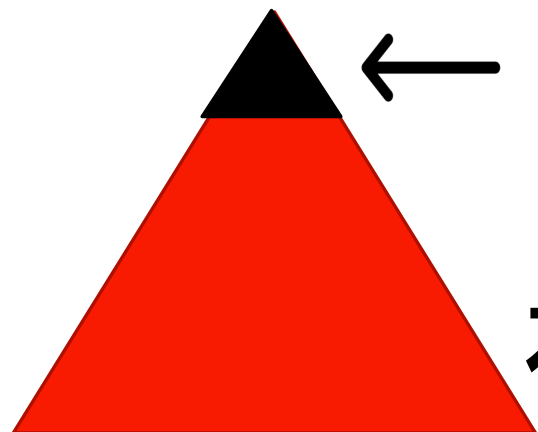
リアルの柔術スクールは、競技、スポーツとしての柔術を教えている

目的が違う

多くの人々の目的は、



- ・趣味
- ・運動不足解決
- ・楽しく、強くなる(キレイになる)
- ・護身術を身につけて自信をつける



← 選手になる目的の人は、少数

初心者が、競技の柔術のみを指導するスクールで学ぶと、
1～2年続けてもパンチやキックが
守れないまま

最悪なシナリオは、黒帯になっても護身術を知らないまま

柔術の起源は護身術なのに～

